

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

当月の出荷量は前月比+7.4%、前年同月比+6%。売上高は前月比+9.6%、前年同月比+20.3%となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

売上は順調だが、原材料や人件費の上昇が負担となっている。円安傾向が是正されない限り、業界の業績は改善しないと思われる。

(繊維工業)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

先月同様、大きな変化はなく、今後も低調に推移するのではないかとと思われる。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全国】

- ・10月の新設住宅着工戸数は71,769戸で前年同月比▲6.3%、季節調整済年率換算値では808千戸(前月比+1.0%)となった
- ・利用関係別では、持家は18,078戸で前年同月比▲17.2%、貸家は31,671戸で▲1.0%、分譲住宅は21,582戸で▲1.2%、また木造住宅は40,550戸で対前年同月比▲5.4%であった
- ・住宅着工動向の前年同月比は、持家の減少が23カ月連続となり、貸家の減少が3カ月連続、分譲住宅の減少が5カ月連続、木造住宅の減少が19カ月連続となった

【広島県】

- ・10月の着工戸数は1,317戸で、前年同月比▲20.9%、うち持家は327戸で▲14.2%、貸家は638戸で▲20.4%、分譲は349戸で▲23.6%であり、県全体の住宅着工戸数の前年同月比は大幅に減少し、延床面積も対前年同月比▲19.5%となっており、木材需要の見通しは厳しい状況にある
- ・木材価格は、住宅建築の伸び悩みや他の資材価格高騰による住宅価格の上昇対策として木材代を抑える動きがあり厳しい状況が続いているものの、円安等の影響により、スギ価格は回復傾向にあり、ヒノキは米材の代替材で使用される動きもあり価格も堅調である
- ・大手製材工場の火災に伴う米松製品の受注制限や急速な円安進行に伴う輸入製品の仕入れコスト増により、外材から国産材へ代替える動きがある

福山木材協同組合

着工数が増加したのも、楽観視できる状態ではない。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月からの景況感に変化はない。増加した仕事量に対して、人員不足により対応しきれず機会ロスが発生する場面もある。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

- ・自動車関係等、全体に売上げが回復傾向にある
- ・材料単価が上昇して、材料比率が高くなる傾向にある

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

・出荷状況

令和5年11月 3, 152 m<sup>3</sup> (対前年比105.2%)

令和5年10月 2, 854 m<sup>3</sup>

令和4年11月 2, 996 m<sup>3</sup>

・令和5年度想定数量

800, 000 m<sup>3</sup>

広島県西部砕石協同組合

昨年9月から開始した製品値上げ活動が奏功し、今年4月から売価アップはできたが、一方で燃料や部品・修理代等の諸資材の値上げによるコストアップを吸収するには至らず、収益は悪化した。

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼

軋鉄鋼協同組合連合会

人手不足感が更に顕著になってきた様を感じる。外国人技能実習生の在り方や中小企業に寄り添った制度の見直しが必要だと思われる。

●一般機械

(一般機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合

売上は前月比+30%、前年同月比は▲3%となった。スポット受注や出荷時期のずれが前月比増加の要因。また、日工会が発表した10月の工作機械受注実績は前年同月比▲20.6%の1, 120億5, 300万円となった。今後は、自動車関連の内外需の回復時期に注目が集まる。

(電気機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

売上は前月比▲10%、前年同月比▲30%となった。機械装置の売上減少が要因。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具 (自動車)

東友会協同組合

マツダの生産は市場の国内・海外とも需要は盛んで順調に増える状況。新型車(CX-60/CX-90)は一部品質確認で生産が滞ったが、全体的に生産台数は順調に回復している。

(11月度自動車国内販売動向)

全需は411千台、前年同月比+9.0%と15ヶ月連続で増加。(登録車は+15.1%、軽自動車は+0.3%)、マツダ車は+11.6%と増加。マツダ車の内訳は登録車+16.9%(10.6千台)、軽自動車▲5.2%(2.7千台)となった。

(10月度自動車海外販売動向)

アメリカの全需は1, 209千台で、前年同月比+2.4%と再び増加に転じた。マツダは▲7.2%と、前年同月を12ヶ月振りに減少する結果となった。

欧州の全需は1, 105千台で、前年同月比+9.8%と14ヶ月連続で増加。マツダは+5.1%と前年同月を11ヶ月連続で増加となった。

中国の全需は2, 638千台で、前年同月比+5.3%と3ヶ月ぶりに増加。マツダは+28.9%と2ヶ月連続で増加となった。

マツダの10月の海外販売は、米国では一部落ち込んだが、全体では増加傾向にある。その他地域では一部の主要市場で苦戦は続いているが、合計台数は82.0千台、前年同月比+6.4%へ増加となった。

(10月度 自動車輸出・生産動向)

マツダの輸出台数は、前年比▲1.1%と回復。国内生産台数は、前年同月比+2.7%へ増加した。

## ●輸送用機械器具（造船）

### 中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の令和5年10月の船舶建造許可実績は3隻、144,900総トンであった。（前月4隻143,750総トン、前年同月4隻94,670総トン）なお、内訳は国内船が1隻で貨物船、輸出船は2隻で貨物船が1隻、油槽船が1隻であった。

### （一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

### （卸売業）

## ●卸売業（総合）

### 協同組合広島総合卸センター

- ・秋口の気候変動が例年とは異なり、猛暑の余韻や急な冷え込み等によりシーズン物の商材が動かない状況が発生している。特に繊維業界は秋物の売れ行きが鈍り、収支・資金繰りにも影響が出ている
- ・人流が戻り、飲食業やサービス業向けの需要は増加傾向。前年と比べると底打ち感も見られ始めている
- ・業種毎の企業間格差の是正には至っていない。今年、一時散発した企業破綻も近時、落ち着きが出ているが、年末にかけては昨年以上に資金繰りへの影響が発生し、支払い遅延等による資金繰りの悪循環に陥る可能性が高まっている

## ●卸売業（電設資材）

### 広島県電設資材卸業協同組合

業界全体の売上は順調な推移だが、業界の問題として品不足が継続している。高圧、幹線ケーブルが現在受注ストップ、出荷制限などが発生している状況で、生産が追い付かない状況。

## ●卸売業（畳・敷物）

### 広島県藁製品商業協同組合

取扱高は、びんご特撰は4月からの累計で前年比96.7%、JAS畳表は85.6%とマイナスが続き、11月は需要増加で多少持ち直しはあったものの、悪化している。

### （小売業）

## ●各種商品小売業

### 広島生鮮三品連絡協議会

- ・11月度中央市場水産部の取扱高は単価上昇が継続し、前年を上回る実績となるが、物量・金額共にコロナ禍以前の水準までには至らない状況が続いている
- ・公的な会合の再開に伴いホテル等の宴会需要は急回復する一方、街中の飲食店では需要の回復ペースが鈍い
- ・11月度中央市場青果部の取扱高は、出荷量の減少節約意識の高まりから、前月より取扱高は減少
- ・食品小売業者は電気・ガス代など水道光熱費や人手不足・最低賃金の上昇によるパートの人件費などのコストの増加分を価格転嫁できず、収益性が悪化し、赤字や減益となっている

### 協同組合三次ショッピングセンター

11月中旬、各組合員は仮店舗営業を終え、リニューアルした共同店舗で営業を再開した。仮店舗先での新規顧客獲得の努力と新店舗の集客力が高いことにより、顧客は増え続け、売上は大幅に増加した。

## ●家庭用電気機械器具小売

### 広島県電器商業組合

令和5年11月度販売実績89%（前年同月比）。AV商品88%、白物商品92%、薄型テレビ99%（内有機EL98%）、DVD75%、冷蔵庫83%、洗濯機82%、IHクッキングヒーター83%、エコキュート105%、エアコン106%、炊飯器104%、電子レンジ73%、掃除機103%。

現状は、買い替え中心の需要となっているが、家電の使用年数が伸び、今後は買い替え需要が減少していくことが予想される。家電商品のみでは経営が成り立たなくなるため、いかに家電以外で利益確保をしていくかがポイントだと考えられる。

## ●その他小売業（燃料）

### 広島県石油商業組合

暖冬のため灯油の出荷が鈍いという声を多く聞く。

## (商店街)

### ●商店街（各種商品小売業）

#### 呉本通商店街振興組合

- ・10月から、中通商店街振興組合と共同で、呉市の商店街等にぎわい集客支援事業補助金を利用して、専門家の助言のもと、来店者でにぎわう商店街を作っていくために「90（くれ）会議」を立ち上げた。これまで、呉市内の事前調査、商店街へのヒアリング調査を終え、11月13日に第1回目の会議を実施している。来年3月末を目処に、商店街の課題を洗い出し、不動産の問題・各店主の意識改革・効果的な情報発信の方法等各方面からアプローチし、課題解決への道筋を示すような計画案を作り上げていく方針である
- ・今年度の新たなイベントとして、「呉氏」のコーティングを施した郵便ポスト3基を設置するプロジェクトを立ち上げている。これから作製に入り、3月下旬の除幕式を予定している

## (サービス業)

### ●自動車整備業

#### 広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比▲8%、前年比+1.8%
- ・車検場収入は、前月比▲6.6%、前年比+1.7%
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比▲8.3%、前年比▲3.3%

### ●広告業

#### 広島県広告美術協同組合連合会

単発的な大型案件があり、今後は売上高については上昇が見込まれる。また、年末に向け駆け込み需要等も見込まれるが、稼働は減少すると思われる。

### ●情報サービス

#### 一般社団法人広島県情報産業協会

電子部品の入手難がほぼ解消された。

### ●警備業

#### 広島県警備業協同組合

人手不足が続いている

## (建設業)

### ●工事業

#### 広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、当月は前月比▲53.6%、前年同月比▲62.8%となった。商業施設のリニューアルやサッカー場建設の案件があるものの、全体的に工事件数が少ない。今年度は、前年度に比べて回復傾向にあったが、当月に入り伸び悩んでいる。

#### 福山地区電気工事業協同組合

官庁関係からの大幅な受注増加により、当月分の受付件数は、1,062件で前年同月比313%となった。

#### 広島市指定上下水道工事業協同組合

住宅着工件数の減少により、業界の景況感はやや悪い。

## (運輸業)

### ●道路貨物運送業

#### 広島東部トラック運送事業協同組合

- ・11月の売上高は前月比、前年同月比ともに増加
- ・軽油価格は、原油価格は下がったものの、政府の補助金の減額により値上げとなった

#### 松永地区トラック事業協同組合

- ・当月の売上高は、対前月、対前年同月ともに大きな変化はなかった。
- ・2024年4月向けて、長距離輸送を行うには、全線高速道路の利用が必須となるため、取引先に対して運賃の値上げ交渉を行っているが、思うように進んでいない。取引先も目先の利益ばかりを気にして、今後、従来の運送方法を継続する事が困難になっていくとは考えていないと思われる

## ●水運業

### 全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高齢化が進み船員不足である
- ・若年船員が育たない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

## ●不動産業

### 広島県不動産評価システム協同組合

- ・前月比は11月も10月同様に一般鑑定報酬の収入が多かったため、売上、収益状況、資金繰りは安定しているが、12月は地価公示等公共の仕事で、一般鑑定を控えていることから売上等は悪化する。前年同月比についても、昨年より一般鑑定の仕事が増えたため、売上、収益状況、資金繰りが好転している。今年度は固定資産評価の公的評価作業が無いので、収入は減少する見込み
- ・不動産市場については、商業地域での売買が、金融機関の融資規制で減少している。一般向けでは、材料費の高騰や人手不足で、戸建住宅、共同住宅の建築等が減少しているが、新築マンションの建築・販売は増加。中古マンションについては依然として販売価格が高値で推移している